

令和4年度 第1回学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和4年6月14日（火） 10:30～12:00
2. 場 所 県立光陵高等学校 会議室
3. 出席者 学校運営協議会委員 5名
(県立光陵高等学校教職員12名)
4. 議 事 今年度の学校運営について
教育活動支援部会
5. 協議内容

(1) 全体

①学校教育計画・グランドデザイン・スクールポリシー

・グラデュエーション・ポリシーにある「時には野心的に失敗を恐れず」という箇所が心に刺さる。これからの社会を生きていく上で特に必要な力だと考える。これをカリキュラムに入れていくことの難しさもあると思うが期待している。(委員)

・これからの社会を作っていくのは子どもたちなんだ、とあらためて感じている。(委員)

・高い理想を掲げ、生徒に求めている。アドミッションポリシーに必ずしも合致しない生徒も含め、理想に向かい教育を進めてほしい。(委員)

②令和4年度学校評価報告書 目標設定

・行事などコロナ禍でできなくなっていたことを元に戻す時期に入りつつあるが、前例踏襲でいいのか、本当に必要なのか、を吟味しあたりまえを疑う視点を共有する中で、働き方改革が少しでも進むきっかけになれば良いと思う。戻すことも必要だが、ずっとやってきたから続けなければならないということではなく、今一度見直すよいタイミングなのではないか、削減も必要である。コロナ禍で別な方法に切り替えた結果見えてきたこともあると思うので、無理なく負担のない形で進めてほしい。(委員)

・改修工事で体育館が使えないなら、中高大連携の強みを活かして横浜国立大学をお借りして学校説明会を開催するなども考えられる。ピンチを逆手に取ってより関係を深めていくことに繋がられるのではないかと。(委員)

③教育活動支援部会

- ・ 体育館改修工事は、長期にわたり大変だと思う。小学校ではSDGsに沿った体育館改修が行われ、快適な体育館に生まれ変わった。高校の改修工事中は、近隣校の体育館利用についても協力できると思う。（委員）
- ・ コロナ禍で、中止を余儀なくされてきた近隣学校とのふれ合いの機会を、お互いに無理なくできる形で戻せればと考えている。（職員）
- ・ 体育祭で行っている応援練習に憧れている児童もいる。教えていただける機会が設定できるとありがたい。素敵な高校生と関わることができるのはとても良いことだと思う。（委員）
- ・ 教員を目指す生徒のニーズに対応する科目「教職基礎演習」では、近隣学校での学習機会を設定させていただき動き出している。（職員）
- ・ 近隣学校として協力する用意があるので、緊密に連携して進めたい。外部機関である放課後キッズクラブも関わる機会を復活できるのではないかと思う。（委員）
- ・ 近隣学校の交流が良い形で再開できれば、PTAの関わりも再開させていただきたい。共生社会の支援に結びつくことに繋がる良い機会となると思う。（委員）
- ・ 異なる校種が近くにある強みを生かし、教職を目指す生徒の本気度をあげるきっかけになれば良いと考える。教育実習を多く受け入れていることについても感謝している。よろしくお願ひしたい。（委員）

※学校評価部会は実施せず、全体会から教育活動支援部会へと移行して実施しました。

④全体を通して

- ・ 光陵の目指すところは明確である。選抜されて入ってくる生徒たちは、目指す生徒像を承知している。この形で引き続き努力してほしいが、学校が多くエネルギーを使うことも承知しているので業務を精選し進めてほしい。（委員）
- ・ 教職を目指す生徒に対するカリキュラムを高校から始める学校は少ないと思う。将来教職を目指したいという気持ちが育つよう導いていただきたい。（委員）

⑤書面会議での委員の意見等

- ・ 令和3年度の学校評価報告書・実施結果を踏まえて一步進んだ目標を掲げている点が評価できる。
- ・ コロナに対応することでICT活用の向上が進んだが、今後もオンラインでの活用の幅も広げてほしいと期待する。誰もが未経験の事態において、教育活動の質を保ち継続することの苦勞も感じている。PTAとしても支援は惜しまない。
- ・ 体育祭を見学させていただいたが、生徒の自主的な運営によって、よどみなく進行していることに感心した。
- ・ 教員を目指す生徒たちに、協力できることがあれば声をかけてほしい。